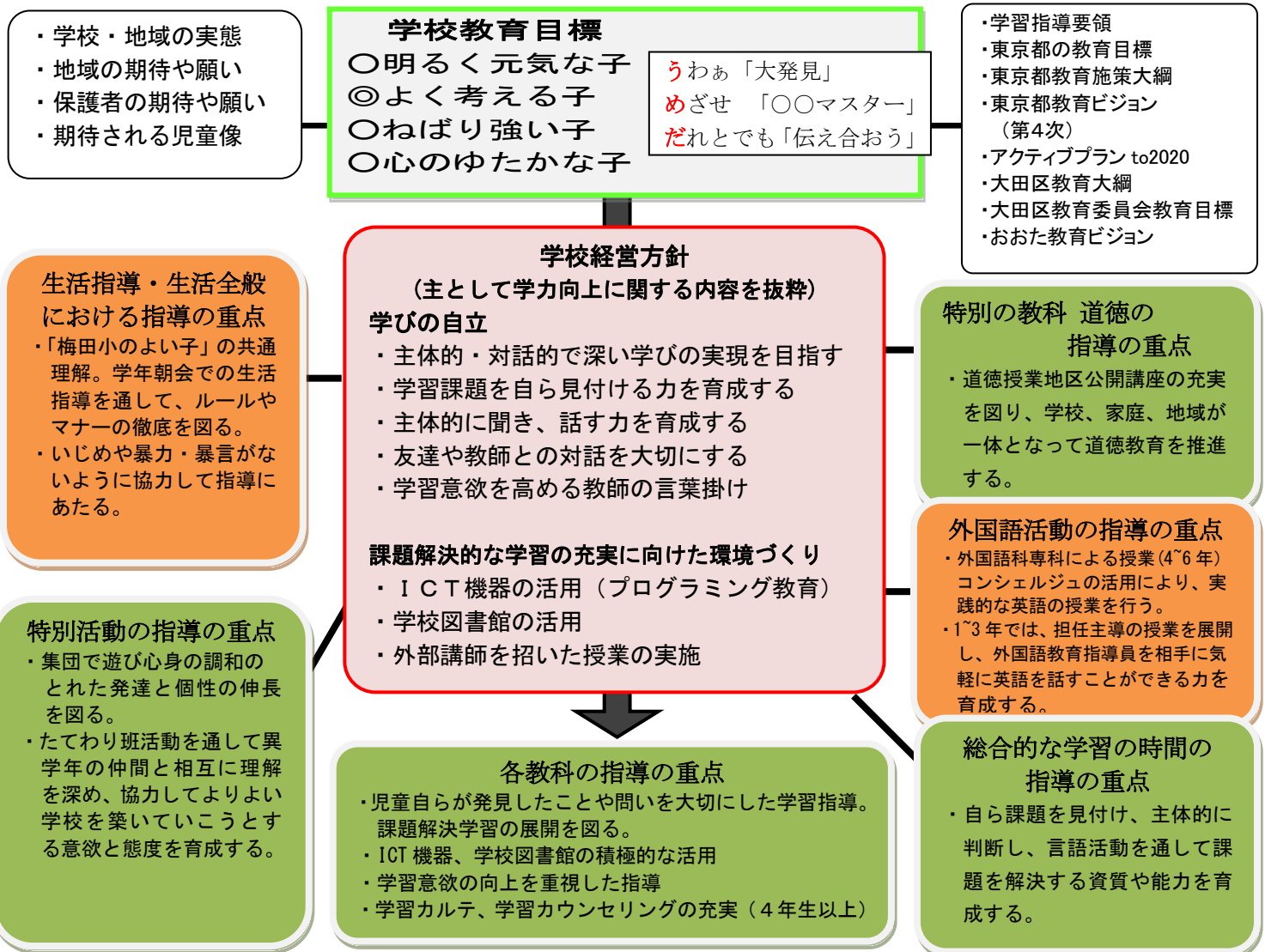


令和5年度 学力向上を図るための全体計画

大田区立梅田小学校



梅田小学校の授業改善に向けた視点

指導方法や内容の工夫	教育課程編成上の工夫	校内における研究や研修の工夫	評価の工夫	家庭や地域社会の連携と工夫
<ul style="list-style-type: none"> ○算数のステップ学習や習熟度別少人数学習指導(3年生以上)を行い、個に応じた指導の充実を図る。 ○主体的・対話的で深い学びに向けて、児童の「日常の発見」「問い」教師の「称賛」「問い返し」を大切にする。 ○読書活動や言語活動の充実を図る。 ○理科支援員の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ○朝学習(火曜、木曜)、読書・読み聞かせ(金曜)補習教室(3年生以上。水曜、土曜)基礎的基本的な理解の定着を図る。 ○2学期末の保護者会で各学年の授業改善点と成果や課題を説明し、保護者の理解と協力を得る。 ○読書学習司書と連携し、各教科の充実を図る。 ○読解力の向上 一校一取組 低学年: 科学読み物推進 高学年: 新聞の読み取り 	<ul style="list-style-type: none"> ○年間8回の授業研究の実施、実技研修会の充実。区や都の研究との連携 ○校内研究の充実 ・R3,R4 東京都教育委員会情報研究校 ・R4 大田区教育委員会 ICT 教育推進授業モデル実証校(先進校) R5研究主題「個別最適な学びと、協働的な学びの授業づくり~主体的な学びを生み出す FACTOR 探しの旅~」 ○組織的な OJT の実施を図り教科指導・生活指導の充実を図る。 ○ICT 機器、プログラミング教育に関する研修の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○学力の定着を図れるよう、学習計画時に学習のねらいや留意点を明確化し、指導と評価の一体化を図る。 ○発達段階や学習活動に応じた振り返り(自己評価)の充実。 ○スタディログ(学びの履歴)を大切にし、指導と評価の一体化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者による読み聞かせやスクールサポートうめだとの連携を図り、体験的な学習や活動の充実を図る。 ○家庭と連携を図り「早寝早起き朝ごはん」推進月間(5月・10月)の充実を目指す。朝ストレッチや啓発カードを行い、意欲的に健康教育に取り組む基盤をつくる。